



我等行く手の



令和6年度
4月号
利根商 進路だより

● 進学費用について知ろう

みなさんは、進学するのにどれくらいのお金がかかるか知っていますか？進学のためには、様々なお金がかかります。次の表は、大学や専門学校を受験するときからその学校を卒業するまでにかかる費用をまとめたものです。

入学前にかかるお金		大学(私立)		短大・専門	
		自宅	一人暮らし	自宅	一人暮らし
学費	受験費用	313,000	313,000	178,000	178,000
	初年度納付金	1,230,000	1,230,000	1,255,000	1,255,000
	入学しない学校への納付金	99,000	99,000	45,000	45,000
生活費	一人暮らしのための準備費用	-	387,000	-	387,000
合計		1,642,000	2,029,000	1,478,000	1,865,000

入学後にかかるお金(1年間)		大学(私立)		短大・専門	
		自宅	一人暮らし	自宅	一人暮らし
学費	授業料	1,033,200	1,033,200	789,500	789,500
	教材費・設備費・実習費等	213,400	213,400	291,500	291,500
	通学費	66,200	17,700	96,500	33,100
	小計	1,312,800	1,264,300	1,177,500	1,114,100
生活費	食費	86,700	267,400	82,700	249,900
	住居・光熱費	-	483,000	-	493,900
	その他	305,300	341,200	302,600	335,600
	小計	392,000	1,091,600	385,300	1,079,400
合計		1,704,800	2,355,900	1,562,800	2,193,500

入学前～卒業までにかかるお金		大学(私立)		短大・専門	
		自宅	一人暮らし	自宅	一人暮らし
		8,461,200	11,452,600	4,603,600	6,252,000

(単位:円)

(参考:全国大学生生活協同組合連合会“2023年度保護者に聞く新入生調査”、公益社団法人東京都専修学校各種学校協会“令和3年度学生・生徒納付金調査”)

この表を見てどのように感じましたか？進路希望が「何となく進学」という人は、それだけのお金をかけてまで進学したい意思や覚悟を持っていますか？また、その支払いには保護者の方の力が必要になるはずで、進路についての相談は必須です。

特に、入学前にかかるお金の初年度納付金については、支払いの期日が合格発表から1週間～1ヶ月以内に設定されています。高校3年生の進路は多くの場合11月～2月に決まります。その時期にそれだけの金額が必要になることも保護者の方に伝えておきましょう。

● 奨学金について

奨学金とは、経済的な理由や家庭の事情で進学が難しい方に向けて、学費の給付や貸与を行う制度で、現在、日本の大学や専門学校に通う多くの学生がこの制度を利用しています。学校や自治体など、様々な奨学金制度がありますが、ここでは、最も多くの学生が利用している「日本学生支援機構」の奨学金について簡単に説明します。

日本学生支援機構の奨学金には大きく「給付型」と「貸与型」の2種類があり、給付型はお金をもらえる(返済する必要がない)もの、貸与型はお金を借りる(卒業後に返済していく必要がある)ものです。いずれの型でも、受け取る金額や使い道はある程度自分で設定することができます。ただし、奨学金は誰でも利用できるわけではなく、学力基準や家計基準などの様々な基準を満たす必要があります。また、日本学生支援機構の奨学金を利用したい場合、①高校在学中(3年生の5月頃)に手続きをしなければならず、②お金の受け取るのは進学先で受け取りの手続きを済ませたあと(入学して1～2ヶ月後)であるため、初年度納付金や入学直後の生活費などには充てられないことに注意してください。

奨学金についてもっと詳しく知りたい人は、近くの先生に相談してみてください。また、右のQRコードは日本学生支援機構のHPにある進学資金シミュレーターです。学生生活でかかる費用や、奨学金を借りて返済するときなどのシミュレーションを行うことができます。気になった人はぜひアクセスしてみてください。

